

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立長吉小	学校	児童数	74
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.16	22.42	33.05	42.17	46.91	9.24	154.14	19.70	54.06
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.71	18.63	34.53	36.93	33.34	9.67	134.73	11.31	51.42
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

大阪市や全国の平均と比べると、男子は5つの項目で上回っており、体力合計点も上回った。ソフトボール投げに関しては、全国との間が開いている。女子においては、上体起こしと50m走以外の項目で下回っており、特に、長座体前屈とソフトボール投げに関しては、全国との差が大きく課題がみられる。

アンケートにおいて、「運動やスポーツをすることは好きですか」という項目において、肯定的な回答をしている児童は、男女とも全国や大阪市よりも高い値となっている。

また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が19.5%、女子が25%であり、大阪市や全国よりも高い値を示している。男子においては、420分以上運動している児童の割合も高いことから、運動をよくする児童とほとんどしない児童の2極化している。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校はこの数年、男女ともに大阪市や全国を下回る結果となっていた。運営に関する計画においても、大阪市の平均に近づけるための取組を重ねてきた。この2年間、跳躍力や走力を伸ばすために、毎日全クラスで「かかと上げ下げ運動」に取り組んできた。その事と男子の結果が良かった事が関係しているとは一概には言えないが、児童たちへの意識付けはできてきている。また、昨年度は4年生で体育の時間にシナプソロジーを取り入れた運動を行ってきた事も、結果の向上につながった。

体育の授業以外にも、運動委員会によるドッジボール大会やランニングタイム、集会委員会によるいろいろな種類の鬼ごっこ、休み時間のみんな遊びなど友だちと体を動かす機会を多く設けてきたことで、「運動やスポーツが好き」と回答する児童が多くなった。

今後も引き続き取組を進めるとともに、体育の時間の充実を図り、生涯にわたって積極的に体を動かし健康に暮らそうとする態度を育っていく。